

2025 年 7 月 24 日

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社
代表者名 代表取締役社長 高田 十光
 (コード番号: 3358、スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 中村 行男
 (TEL. 0947-32-7382)

株式譲渡契約締結（完全子会社化）に関するお知らせ

当社は、2025 年 7 月 24 日の取締役会において、株式会社 Yappa（以下「Yappa 社」という）の全株式を取得（以下「本件株式取得」）し、完全子会社化することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

Yappa 社は、東京都城南・城西エリアにおいて、地域密着かつ洗練された焼肉レストランを 3 店舗展開しており、地域住民や商圏における固定客を中心に高い顧客支持を獲得しています。また、注文・決済・売上管理等においてデジタル技術を積極的に導入し、店舗運営の効率化と顧客利便性の両立を実現している点も大きな特長です。

当社は 2023 年に東京本部を開設し、関東圏での出店加速および海外事業との連携強化を進めておりますが、本件子会社化により、都市部における DX 化されたモデル店舗の導入と運営ノウハウの獲得、そして人材・仕入・IT インフラなどの共通化によるオペレーションシナジーの早期創出が可能となります。

当社は「九州筑豊ラーメン山小屋」ブランドを中心に、とんこつラーメン業態を展開しておりますが、創業当初より「ホルモン焼肉＋ラーメン」の複合型店舗も展開しており、Yappa 社の焼肉業態とはメニュー構成や客層の観点で高い親和性があります。

今回の完全子会社化は、当社が掲げる「多様なジャンルを取り込む総合飲食プラットフォームへの進化」という中長期方針に則ったものであり、業態の拡張と同時に、DX 化を通じた業務オペレーション高度化の取り組みにも資するものです。

本件株式取得をはじめ、今後も当社は積極果敢な経営姿勢を通じて事業ポートフォリオの最適化とブランド多様化を推進し、企業価値の飛躍的な向上を目指してまいります。

2. Yappa 社の概要

異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社 Yappa		
(2) 所在地	東京都目黒区東山一丁目 5 番 4 号 K D X 中目黒ビル 3 階		
(3) 代表者	越淵 佳祐		
(4) 事業内容	飲食店の経営		
(5) 資本金	5,000,000 円		
(6) 設立年月日	2020 年 1 月		
(7) 大株主及び持株比率	今川 博貴 70% 越淵 佳祐 30%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2023 年 2 月期	2024 年 2 月期	2025 年 2 月期
純資産	3 百万円	9 百万円	16 百万円
総資産	84 百万円	84 百万円	76 百万円
1 株当たり純資産	30,674 円	91,563 円	165,449 円
売上高	115 百万円	168 百万円	187 百万円
営業利益	△12 百万円	5 百万円	9 百万円
経常利益	△ 3 百万円	9 百万円	9 百万円
当期純利益	△ 3 百万円	6 百万円	7 百万円
1 株当たり当期純利益	△31,826 円	60,888 円	73,886 円

3. 株式取得の相手先の概要

(1)	氏名・取得株式数	今川 博貴	70 株
	住所	神奈川県横浜市	
	当社と当該個人との関係	記載すべき資本関係・人的関係・取引関係及び関連当事者に関する事項はありません。	
(2)	氏名・取得株式数	越淵 佳祐	30 株
	住所	東京都世田谷区	
	当社と当該個人との関係	記載すべき資本関係・人的関係・取引関係及び関連当事者に関する事項はありません。	

4. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (所有割合：0 %)
(2) 取得株式数	100 株 (議決権の数：100 個) (所有割合：100%)
(3) 取得価額	110,000,000 円 (Yappa 株式 1 株につき 1,100,000 円)
(4) 移動後の所有株式数	100 株 (議決権の数：100 個) (所有割合：100%)

5. 今後の予定

(1) 取締役会決議日	2025 年 7 月 24 日
(2) 株式譲渡契約書の締結完了日	2025 年 7 月 24 日 (予定)
(3) 株式譲渡実行日	2025 年 7 月 31 日 (予定)

6. 業績に与える影響

Yappa 社は、近年増収・黒字基調を継続しており、当社グループの利益構造強化に資する見通しです。業績への定量的な影響については、精査のうえ、必要に応じて速やかに公表いたします。

当社は、今後も「一杯のラーメンを通じて世界に感動を届ける」という創業理念のもと、地域密着型の飲食ブランドと協業しながら、国内外の成長市場で新たな挑戦を続けてまいります。

以上